

市長と話そう！「ふれあいトーク」意見交換の概要（下古山自治会）

（参加者）

- ・下古山自治会は、三つの区に分かれており、各区に会長と副会長が配置されています。
- ・年間を通じて様々な事業を展開し、地域の活性化に取り組んでいます。
- ・7月13日に「古山の夏祭り」を開催する予定です。
- ・児山館の敷地が狭いため、令和5年度から会場を古山小学校のグラウンドに変更しています。お神輿渡御は、古山小学校南側の市道で実施しています。
- ・大人神輿は担ぎ手の不足が課題ですが、子ども神輿の体験企画などにより、去年は600人以上が参加しました。
- ・お神輿渡御がグラウンドで実施できないことと、市道での実施には警察の許可が必要であることが課題です。
- ・「古山の夏祭り」で給水車の派遣や防災設備の展示、支援物資の配布、避難所の体験などができないか、市の担当課に相談しています。

（市長）

- ・給水車の派遣や避難所の体験などは、地域の防災意識向上にもつながるため、積極的に対応したいと思います。

（参加者）

- ・6月9日の班長会議で、市の担当課に協力してもらい、「自主防災組織」と「ゴミの出し方の変更」の説明会を開催したところ、好評でした。
- ・屋外拡声器放送が聞き取りづらいため、防災ラジオをもっとPRするべきだと思います。

（参加者）

- ・自治会の民生委員は3名です。台風などの災害時における要援護者の安否確認は、民生員だけでは困難です。
- ・民生委員と連携して自治会が要援護者の安否確認などを実施できないかと考えていますが、個人情報保護のため要援護者のリストを提供してもらえません。自治会が要援護者の情報を共有できないことは課題です。
- ・婦人防災クラブが要援護者への防災グッズ配布事業を計画しましたが、要援護者のリストがないため、事業を断念しました。

（市長）

- ・要援護者のリストの提供が必要な場合の対応について、今後検討していきます。

（参加者）

- ・自治会では、通学路の安全点検をしています。
- ・危険箇所の対策について、学校運営委員会を通じて要望していますが、「横断歩道は基準を満たしていないため設置できません」との回答でした。「できません」という回答だけでなく、安全対策の代替案を提示してほしいと思います。
- ・自治会と学校だけでなく、市の担当課も参加する合同の現地立会を実施してほしいと思います。
- ・通学路の安全対策の要望については、学校から、自治会から、そして学校を経由した自治会からのものがあります。学校を経由した自治会からの要望の場合、自治会への回答がきていません。

（市長）

・通学路の安全対策に関する自治会からの要望への回答方法について、教育委員会に確認のうえ、対応を整理していきます。

（参加者）

・通学路にゴミステーションがあるため、登校時に危険な箇所となっています。隣接する施設の敷地内に移設できれば、解決できると思います。

（市長）

・ゴミステーションの移設が可能かどうか、担当課に確認します。